学校番号	1008

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	ファッション造形基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「ファッション造形基礎」　（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇衣生活の充実向上をめざしてファッション造形の基礎知識と実践的・体験的学習活動をとおして、主体的かつ協働的に取り組みましょう。
・被服の構成、被服材料の種類や特徴、被服製作などについて理解を深め、関連する技術を身につけるようにします。
・実践的・体験的な学習をとおして、衣生活充実向上をめざす確かな技術を身につけるようにします。
・ファッションの造形に関する課題に気づき、合理的・創造的に解決する力を養いましょう。

２　学習の到達目標

〇衣服の構成、衣服材料の種類や特徴など、衣服政策に関する知識と技術を習得します。
〇ファッション造形の基礎的な能力と態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	ファッションの造形などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。	ファッションの造形などについて関心をもち、課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	ファッションの造形などに関する基礎的・基本的な技術を身につけている。	ファッションの造形などに関する基礎的・基本的な知識を身につけている。
評価方法	学習や演習、実習状況の観察 ワークシートの記述 製作計画、実習記録表、レポート、発表、自己評価　等	学習や演習、実習状況の観察 ワークシートの記述 製作計画、実習記録表、レポート、発表、自己評価・相互評価　等	学習や演習、実習状況の観察 ワークシートの記述 製作物、演習/実習記録表 実技テスト、自己評価・相互評価　等	学習や演習、実習状況の観察 ワークシートの記述 製作計画、演習/実習記録表、レポート、発表　等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	衣服の構成と素材・洋服の製作	○人体と衣服 ○立体構成と平面構成 ○衣服素材の性能と選択 ○衣服材料の選択 ○洋服の製作 ・ギャザースカートの製作	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:着心地のよい衣服を作るためには人体構造や動作の変化に対応したゆるみ、体系の変化などを考慮することを理解している。 b:立体構成の代表としての洋服、平面構成としての和服の特徴を理解し、応用発展した構成を表現している。 c:製作する衣服に適した材料の選択と取り扱いができている。また、縫製に関する基礎的な理解と実践ができている。 d:人体構造と衣服構成、衣服に適した材料選択と縫製方法を理解している。	授業観察 ワークシート 演習 製作実習 実習記録 レポート 製作物 自己および相互評価 実技テスト
2学期	洋服の製作・和服の製作	○洋服の製作 ・ワンピースドレスの製作 ・ベストの製作 ○和服の製作 ・じんべいの製作	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:上半身と下半身を結合した衣服の構成と動作への適応について、積極的にからだを使って取り組もうとしている。 b:上半身と下半身を結合した衣服の構成と動作への適応について型紙を工夫しながら積極的に取り組み、表現しようとしている。 c: 製作する衣服に適した材料の選択と取り扱いができている。また、縫製に関する基礎的な理解と実践ができている。 d:製作する衣服に適した材料選択と縫製方法を理解している。	授業観察 ワークシート 演習 製作実習 実習記録 レポート 製作物 自己および相互評価 実技テスト

3学期	和服の製作	○和服の製作 ・じんべいの製作	○	○	○	○	a:下半身を覆う衣服の構成と動作への適応について、積極的にからだを使って取り組もうとしている。 b:下半身を覆う衣服の構成と動作への適応について型紙を工夫しながら積極的に取り組み、表現しようとしている。 c: 製作する衣服に適した材料の選択と取り扱いができている。また、縫製に関する基礎的な理解と実践ができている。 d:製作する衣服に適した材料選択と縫製方法を理解している。	授業観察 製作実習 実習記録 レポート 製作物 自己および相互評価 実技テスト

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することになりますが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○をつけています。